

## 倉敷中央病院で診察を受けられる患者さんへ

当院では、以下の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の試料・情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

|                 |  |
|-----------------|--|
| 研究題目            | くも膜下出血の転帰に関するデータベース研究  |
| 研究期間            | 当院病院長許可日 ～ 2026年12月31日   |
| 対象患者            | 2000年1月1日 ～ 2021年12月31日までに各施設でくも膜下出血の診断で入院治療を行った全ての患者さん  |
| 研究組織            | 別添のとおり   |
| 当院研究責任者         | 脳神経外科 沈 正樹   |
| 意義・目的           | 日本のくも膜下出血の治療のデータベースを構築し、くも膜下出血後遅発性脳虚血の予防、治療、転帰に影響を与える因子について検討します。  |
| 研究内容            | データベースを利用して、破裂脳動脈瘤の大きさ、部位、性状などの動脈瘤情報、患者の年齢、性、既往歴、併存薬物などの患者情報、治療法・脳血管攣縮・遅発性脳虚血・水頭症・転帰の関連因子を統計学的に検討します。  |
| 利用・提供する試料・情報の項目 | 入院時年齢、性別、SAH発症日、入院日、動脈瘤破裂部位、動脈瘤性状、動脈瘤サイズ分類、治療内容、遅発性脳虚血の有無、その予防法と治療法、脳血管攣縮の有無、その予防法と治療法、水頭症、入院時CT、Fisher分類、Hunt & Kosnic入院時グレード、WFNS入院時グレード、退院時mRS、既往症 等                        |
| 試料・情報の他機関への提供有無 | <p>■あり</p> <p>提供方法：個人情報特定されないファイルをパスワード管理し、メールにて送付します。</p> <p>海外の機関への提供 <input type="checkbox"/>あり・<input checked="" type="checkbox"/>なし</p> <p><input type="checkbox"/>なし</p> |
| 個人情報の保護         | 当院における個人情報保護の基本方針に準じて行います。   |
| 結果の公表           | 投稿論文として公表予定です。   |
| 備考              |  |

\*\*\*\*\* お問い合わせ先 \*\*\*\*\*

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

研究責任者：脳神経外科 沈 正樹

電話：086-422-0210

\*\*\*\*\*

研究組織

<研究代表者>

島根県立中央病院 脳神経外科 部長 井川 房夫

<解析、論文作成>

広島大学 脳神経外科 教授 堀江 信貴

島根大学 脳神経外科 教授 秋山 恭彦

広島大学 脳神経外科 助教 石井 大造

<統計解析>

東京大学大学院 医学系研究科 医療品質評価学講座 特任助教 一原 直昭

<データ提供機関>

広島大学 脳神経外科 教授 堀江 信貴

杏林大学医学部 脳神経外科 主任教授 塩川 芳昭

東海大学 脳神経外科 教授 反町 隆俊

埼玉医科大学国際医療センター 脳神経外科 教授 栗田 浩樹

藤田医科大学医学部 脳卒中科 教授 中原 一郎

倉敷中央病院 脳神経外科 主任部長 沈 正樹

旭川赤十字病院 脳神経外科 部長 瀧澤 克己

日本赤十字社医療センター 脳神経外科 部長 入江 是明

岩手県立中央病院 脳神経センター長 木村 尚人

広島市民病院 脳神経外科 センター長 西野 繁樹

久留米大学医学部 脳神経外科 教授 森岡 基浩

順不同